

第29回 大学等におけるオンライン教育とデジタル変革に関する  
サイバーシンポジウム「教育機関DXシンポ」

1

主催 国立情報学研究所 大学の情報環境のあり方検討会  
開催日時 令和3年3月26日(金)11:00~13:30

**ITの苦手な教員が  
愚直に取りくんたこと**

佐藤 浩一（群馬大学教育学研究科）

## 担当科目(zoom 同時双方向型)

	科目	n
教養	初年次導入教育	11
教職専門	発達・教育心理学	113
	幼児の言葉の発達と教育	38
専攻	学習心理学演習	3
	心理学研究法演習	7
	学習心理学	5
	教育心理学実験	7
	卒業研究	2
大学院	学習支援の理論と実践	10
	M1課題研究	1

## 授業以前に

- ▶「ログイン」と「サインイン」??
- ▶ビデオONでも映らない?!
- ▶大きなリアクションで  
～「顔出し」NG



## 余裕のある授業

教員・受講生ともに、トラブルが起こっても回復できるように。

教職専門の場合

導入、目標の提示

5分

本論

30分

休憩

5分

本論

30分

ミニレポート

20分

チャットに貼り付け

## 余裕のある授業

教員・受講生ともに、トラブルが起こっても回復できるように。

導入、目標の提示	5分	
本論	30分	
休憩	5分	
本論	30分	
ミニレポート	20分	チャットに貼り付け

教職専門の場合

対面での  
方法を踏襲

# ユニバーサルデザイン

	昨年度まで	今年度
視覚化	やや不統一	<ul style="list-style-type: none"><li>▶ ゴチック、24ポ以上、横書き</li><li>▶ 著作権等の確認</li></ul>
共有化	隣近所と	<ul style="list-style-type: none"><li>▶ チャット(不具合も)</li><li>▶ ブレイクアウト(やりにくい)</li></ul>
焦点化	やや盛りだくさん	<ul style="list-style-type: none"><li>▶ テーマを絞る</li><li>▶ 目標を最初に示す ～最後のミニレポート</li></ul>

# ユニバーサルデザイン

	昨年度まで	今年度
視覚化	やや不統一	<ul style="list-style-type: none"><li>▶ ゴチック、24ポ以上、横書き</li><li>▶ 著作権等の確認</li></ul>
共有化	隣近所と	<ul style="list-style-type: none"><li>▶ チャット(不具合も)</li><li>▶ ブレイクアウト(やりにくい)</li></ul>
焦点化	やや盛りだくさん	<ul style="list-style-type: none"><li>▶ テーマを絞る</li><li>▶ 目標を最初に示す ～最後のミニレポート</li></ul>

# ユニバーサルデザイン

	昨年度まで	今年度
視覚化	やや不統一	<ul style="list-style-type: none"><li>▶ ゴチック、24ポ以上、横書き</li><li>▶ 著作権等の確認</li></ul>
共有化	隣近所と	<ul style="list-style-type: none"><li>▶ チャット(不具合も)</li><li>▶ ブレイクアウト(やりにくい)</li></ul>
焦点化	やや盛りだくさん	<ul style="list-style-type: none"><li>▶ テーマを絞る</li><li>▶ 目標を最初に示す ～最後のミニレポート</li></ul>

# ユニバーサルデザイン

	昨年度まで		
視覚化	やや不統一	▶ ゴ ▶ 著作	横書き
共有化	隣近所と	▶ チャット(不具合も) ▶ ブレイクアウト(やりにくい)	
焦点化	やや盛りだくさん	▶ テ ▶ 目	ト

全体に送ると  
PCがフリーズ

- ・ビデオOFF
- ・上級生に遠慮
- ・反応がズレると不安

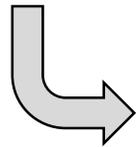
	昨年度まで	今年度
視覚化	やや不統一	<ul style="list-style-type: none"><li>▶ ゴチック、24ポ以上、横書き</li><li>▶ 著作権等の確認</li></ul>
共有化	隣近所と	<ul style="list-style-type: none"><li>▶ チャット(不具合も)</li><li>▶ ブレイクアウト(やりにくい)</li></ul>
焦点化	やや盛りだくさん	<ul style="list-style-type: none"><li>▶ テーマや素材を絞る</li><li>▶ 目標を最初に示す ～最後のミニレポート</li></ul>

# ユニバーサルデザイン（焦点化）

## 「幼児の言葉の発達と教育」第1回

### 今日の目標

幼児の母語学習は「真似」や「丸暗記」ではないことを、理解し説明できる。



幼児は、大人の言葉を真似したり、丸暗記したりするだけでなく、もっと高度な能力を使って母語を学習していると思われる。それはどんな能力だろうか。子どもが自分で表現を発明する具体例をあげて、どんな能力か説明してください。

# ユニバーサルデザイン

	昨年度まで	今年度
視覚化	やや不統一	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ゴチック、24ポ以上、横書き</li> <li>▶ 著作権等の確認</li> </ul>
共有化	隣近所と	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ (不具合も)</li> <li>▶ ウト(やりにくい)</li> </ul>
焦点化	やや盛り さん	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 素材を絞る</li> <li>▶ 目標を最初に示す</li> <li>▶ ~最後のミニレポート</li> </ul>

対面でも気をつけていた事を、強く意識

## アナログなサービス

### 1. 資料をプリントアウトして郵送(少人数の授業)

- ▶ プリントアウトの有無が理解度やレポートに影響？
- ▶ 紙の方が操作しやすい(書き込み、頁をまたいで)。
- ▶ 教員も指示しやすい。

※2021年度は冊子郵送の予定

## 2. 参考書の貸し出し + 返信用スマートレター

The image shows a SmartLetter envelope form with a light blue floral border. At the top left is a red NIPPON 180 logo. To its right are five red-outlined boxes for postal codes. Below the logo is a light blue box for the recipient's address, labeled 'お届け先 To'. It contains fields for 'おところ: Address' and 'おなまえ: Name', with a '様' (san) honorific at the bottom right. Below this is a larger white area for the message. At the bottom right is another light blue box for the sender's address, labeled 'ご依頼主 From'. It contains fields for 'おところ: Address' and 'おなまえ: Name', with a '様' (san) honorific at the bottom right. At the bottom left is the 'SmartLetter' logo and 'スマートレター' text. At the bottom right is the text '小型特定封筒'.

## 得たもの

1. オンラインについて若干の知識と技能
2. 高い授業評価
  - ▶全回答の81%「満足している」(4件法)
  - ▶「安心して受講できた」「学習の深まりを感じた」
3. 授業中の課題のネタ
  - 例「研究の問題点を指摘する」→「査読する」

## 4. 研究指導の方法

資料を共有し、学生が書き込み

## 5. 卒業研究のネタ「オンラインでの協同問題解決」

## 心身の健康

- ▶ 整形外科通い
- ▶ オンラインでストレス、  
オンラインでカウンセリング

ITの苦手な教員が  
愚直に取りくんたこと

日本教育新聞 関東版

「オンライン授業に取り組んで」

2020年8月11日(電子版)

同僚と学生の皆さんに感謝